



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 株式会社 メンバーズ
 コード番号 2130 URL <http://www.members.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 剣持 忠
 (氏名) 小峰 正仁

TEL 03-5843-5333

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,054	2.0	3	△91.9	3	△93.0	△2	—
24年3月期第1四半期	1,033	—	41	—	44	—	35	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △2百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△0.37	—
24年3月期第1四半期	6.29	6.17

(注) 1. 前連結会計年度より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行い、平成24年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,068	1,286	62.0
24年3月期	2,226	1,274	57.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,282百万円 24年3月期 1,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,453	13.1	127	18.9	125	11.3	78	△28.6	13.88
通期	5,117	12.3	275	15.0	273	3.0	170	△44.4	30.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	5,912,000 株	24年3月期	5,912,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	162,800 株	24年3月期	259,600 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	5,707,679 株	24年3月期1Q	5,643,400 株

(注) 当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行い、平成24年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は平成24年7月31日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災の復興需要による緩やかな景気回復が見られるものの、円高や欧州債務問題などにより景気は不透明な状況で推移しました。インターネット業界においても、震災による広告出稿の自粛などの影響が生じておりましたが徐々に回復してきております。また、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）、特に実名インターネット時代を象徴するFacebookは企業とユーザーをつなぐ重要なマーケティング施策として浸透してきております。

当社グループにおいてもFacebookを始めとしたソーシャルメディア関連サービスを含むWebサイト制作・運用の需要は高く、Webサイト制作・運用の売上は昨年に引き続き堅調に推移しました。当社グループは中期経営計画を策定して「ソーシャルメディア時代をリードし、クライアントと共にビジネスを創造するネットビジネスパートナー」を目指し、事業モデルの転換や強化を図ってきております。特にFacebookマーケティングの分野では、ナショナルクライアント等のFacebookマーケティング支援や、Facebookと企業Webサイトを連動させたFacebookインテグレーション事例の創出、Facebookと連動したソーシャルコミュニティの「MANGAful Days」や「Studymate」の構築など様々な実績を積み上げてきております。その成果として2012年4月に、Facebookの「認定マーケティングデベロッパープログラム（Preferred Marketing Developer program、PMD）」のパートナーに日本企業として初めて認定されました。

また、従来からの強みであるWebサイト制作・運用サービスの拡大に向けて、Webマネジメントセンターの運営代行サービスの立ち上げを行っております。多デバイス・多言語時代に沿ったクライアント独自のWebマネジメントセンターを立ち上げて、高品質に大規模サイトの運営を担っていくことで競合との差別化を図ってまいります。さらに、そのための独自の品質マネジメントシステムの再構築や拡大発展可能な経営システムの整備、Web制作・運用事業拡大に向けた人材確保・育成に積極的に投資を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,054百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は3百万円（前年同四半期比91.9%減）、経常利益は3百万円（前年同四半期比93.0%減）、四半期純損失は2百万円（前年同四半期は四半期純利益35百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,068百万円（前連結会計年度末比157百万円の減少）となりました。これは主として、現金及び預金が15百万円、有形固定資産が29百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が196百万円、投資その他の資産が12百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は782百万円（前連結会計年度末比170百万円の減少）となりました。これは主として、買掛金が89百万円、賞与引当金が122百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,286百万円（前連結会計年度末比12百万円の増加）となりました。これは主として、自己株式が16百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ85千円増加しております。

会計上の見積りの変更

(原状回復費用の償却期間の変更)

当社は、当第1四半期連結会計期間において、本社を移転することを決定いたしました。そのため、移転前の本社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務である資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間を短縮し、変更しております。

なお、当該資産除去債務に関しては、資産除去債務の負債計上に代えて、建物賃貸借契約に関する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当連結会計年度の負担に属する金額を費用に計上する方法によっております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,857千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,027,550	1,043,256
受取手形及び売掛金	954,721	758,117
仕掛品	5,716	15,525
その他	73,688	65,186
貸倒引当金	△474	△376
流動資産合計	2,061,202	1,881,710
固定資産		
有形固定資産	14,302	43,905
無形固定資産	10,788	15,466
投資その他の資産	140,373	127,711
固定資産合計	165,464	187,084
資産合計	2,226,666	2,068,794
負債の部		
流動負債		
買掛金	521,050	431,198
1年内返済予定の長期借入金	16,008	16,008
未払法人税等	8,508	2,313
賞与引当金	126,161	3,641
その他	256,851	299,622
流動負債合計	928,580	752,784
固定負債		
長期借入金	18,636	14,634
その他	5,015	14,655
固定負債合計	23,651	29,289
負債合計	952,232	782,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,275	771,275
資本剰余金	401,738	401,738
利益剰余金	142,031	138,791
自己株式	△43,893	△27,526
株主資本合計	1,271,151	1,284,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,123	△1,745
その他の包括利益累計額合計	△1,123	△1,745
新株予約権	4,407	4,188
純資産合計	1,274,434	1,286,720
負債純資産合計	2,226,666	2,068,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,033,984	1,054,430
売上原価	818,560	822,085
売上総利益	215,423	232,344
販売費及び一般管理費	173,643	228,974
営業利益	41,780	3,370
営業外収益		
受取配当金	20	20
受取手数料	587	—
償却債権取立益	2,000	—
その他	49	21
営業外収益合計	2,657	41
営業外費用		
支払利息	352	295
その他	34	49
営業外費用合計	386	344
経常利益	44,050	3,067
特別利益		
新株予約権戻入益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産除却損	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	44,050	3,068
法人税、住民税及び事業税	8,581	868
法人税等調整額	—	4,310
法人税等合計	8,581	5,179
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	35,469	△2,111
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,469	△2,111

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	35,469	△2,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	867	△622
その他の包括利益合計	867	△622
四半期包括利益	36,337	△2,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,337	△2,733

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。